

題名

メンテナンス患者にこそ行うべきオーラルフレイルの予防
～歯科医院で取り組む口腔機能低下症の導入から管理まで～

抄録

歯科医院での歯科衛生士の大きな役割である、口腔衛生管理を患者さんと関わり長く見続けていると、特に高齢者において、安定した状態を維持することが難しいと感じる事はないでしょうか？

それは患者さんの老化による様々な変化が口腔や全身に兆候として現れてくるからです。フレイルの前段階のプレフレイルは口腔から始まると言われています。普段患者さんと深く関わりをもつ歯科衛生士が、先に小さな変化に気がつく事が出来れば、健口が維持され健康寿命が保てる事にも繋がるかも知れません。

当院では、普通にメンテナンスを継続されている高齢者に対して、早い段階での口腔機能低下症に取り組んでいます。個々に適した導入から検査、トレーニング、管理までをどのように行い、患者さんと共にわかってきたこと、衛生士としてもっと患者さんに関わり、出来るのではないかと感じている事をご紹介します。